

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和2年3月23日

事業所名 まさき園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		屋内遊戯室は広い ため安全を考慮して 間仕切ることも あります。	
	2	職員の配置数は適切である	○			基準以上の配置はおこなっています。介助時は人手を要する時もあります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			勤務中に広く職員が参画できるように計画を立てて実行していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			年齢に応じた活動内容を検討して実施しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		評価の回答を踏まえて保護者と懇談し、改善すべき点についての意見をお伺いしました。	保護者の評価を回収後、会議を開きました。保護者の意見を大切に改善すべき点は改善していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		可能な限り外部研修に参加し、向上につとめています。	研修計画を策定し研修の目的を明確にしていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		懇談でニーズを汲みとり、検討して作成しています。	わかりやすい計画書になるように意識していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		児童発達支援管理者研修で提供されたアセスメントツールを参考にし取り入れています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用されるお子様と一緒に活動内容を組んでいます。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		活動の目的を共有しながら支援の充実につとめます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		集団での活動の中に個々の支援を実施しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		前日に打ち合わせし当日はその都度伝えあっています。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		前日に打ち合わせし当日はその都度伝えあっています。	必ず打ち合わせができないこともありますがわずかな時間でも情報を共有できるようにしています。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		土曜日営業日の午前中にミーティングを実施しています。その時に支援の検証・改善などを検討していきます。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			今後も計画的に見直しができる体制づくりをします。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		今日の出来事などを話題にしながら家庭的な環境を作っています。園外散策で季節を感じるように、野花や昆虫等の採取をしています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加しています。担当職員と事前に打ち合わせをして参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時に担当職員より学校での様子をお聞きして必要事項は、保護者にお伝えしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		連携と共有ができるようにしていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				卒業生がいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			研修後のフィードバックが充実するように計画的に時間を設け、報告会を実施していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		児童部会がありません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時、保護者に日誌と口頭で伝えています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用前の見学時と契約時に説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談に適切に応じるため、話し合いの場を設けて助言をしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会などは設けていませんが、交流する機会を計画していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時に苦情、相談窓口の連絡先をお伝えしています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動を知っていただけるような機関紙を発刊しています。園に掲示し閲覧できるようにしています。	センター内にある掲示板をより一層活用できるように工夫していきます。
	35	個人情報に十分注意している	○		方針全個人情報保護規程に準じて取扱いしています。契約時に個人情報の取り扱いについて説明しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		ジェスチャーや指さし、ピクチャーカードを使って気持ちを汲み取ったり気持ちを伝えるようにしています。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		『まさきえんにち』を開催し地域の方にもお越しいただきまし		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアル集を作成し訓練を実施しています。	訓練の予告チラシを掲示し案内しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		火災、防災、防犯に関する訓練しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		セルフチェックの実施、振り返りを実施しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に説明しています。対象となる児童には個別支援計画に記載しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		作成後、口頭での報告と回覧して周知しています。		